

CO2レーザー治療(ショット)を受けられる方へ 説明・同意書

私は患者 _____ 殿に対して、下記手術の必要性、危険性、及び合併症などについて説明しました。

1. 手術名称：皮膚皮下腫瘍切除術

2. 手術内容：腫瘍をCO2レーザーで焼灼します。

3. 術中術後の危険性：局所麻酔、手術、術後の経過を通じて以下の危険性があります。

早期の併発症：感染、出血、アレルギー、血腫の形成を引き起こす可能性があります。

上記により治癒が遅延したり、傷跡が目立ったり可能性があります。

晩期の併発症：症状の残存、再発・肥厚性瘢痕が生じる可能性があります。

上記何れかの理由により処置や再手術が必要となる可能性があります。

また、再手術をしても修正できない場合もあります。

4. 術後経過：経過が良好ならば、抜糸は約1週間後の予定です。

その後3ヶ月間のテーピングをして頂きます。

尚、傷痕が完全に消えるということはありません。

5. その他：この同意書の内容や医師の説明に分からないことや、気になることがありましたら、お聞き下さい。

説明医師 津田達也 印

私は、上記内容の説明を医師から受け、麻酔・手術・検査が行われることに同意します。

なお、この手術・検査実施中に、緊急処置が必要となった場合には、その処置を受けることについても同意します。

年 月 日

患者氏名 _____ 印

親族または代理人氏名 _____ 印 (続柄 _____)

CO2 レーザー治療(ショット)を受けられた方へ

治療終了直後

クリニックで貼られた絆創膏を剥がさず貼付しておいてください。

入浴時

施術当日は熱いシャワーを浴びたり湯船に浸かったりするのはお控え下さい。ぬるい温度でのシャワー浴は大丈夫です。

入浴時も絆創膏はそのままお願いします。

入浴後

剥がれない限り、絆創膏は貼ったままにしておいて下さい。

剥がれた場合はクリニックで配布したハイドロコロイド系の絆創膏(足りない場合はドラッグストアで類似品を販売していますのでお買い求めください)を貼付してください。

翌日以降

絆創膏の端から汁がでてきた場合は絆創膏を剥がし、ぬるま湯で洗ってから新しいハイドロコロイド系の絆創膏を貼って下さい。端まで汁が来ない場合でも2日に1回は貼り替えて下さい。

汁が出なくなればクリニックで配布した茶色テープを施術後3ヶ月の間貼付してください。

茶色テープは剥がれてくるまでは貼りっぱなしにしてください。あまり頻繁に交換すると剥がす際の刺激で色素沈着を起こすことがあります。

1週間経過してもまだ傷から汁が出続ける場合は担当医にご相談下さい。

施術翌日からは熱いシャワーを浴びたり湯船に浸かったりしても大丈夫です。

1~2日は激しい運動は控えて下さい。10日間は球技等のスポーツは控えて下さい。

	当日夜	翌朝~1週間後	3ヶ月後まで
処置	クリニックで貼付された絆創膏を貼ったままにしてください。 剥がれた場合はぬるま湯で洗浄後、ハイドロコロイド系の絆創膏を貼付する。端から汁があふれてきた場合も同様に交換してください。 汁が出なくなれば茶色テープに切り替えてください。		1週間以上経過しても汁が出ている場合はご相談下さい。 茶色テープの貼付を継続して下さい。 剥がれてくるまでは貼りっぱなしにしてください。あまり頻繁に交換すると剥がす際の刺激で色素沈着を起こすことがあります。
入浴時	湯船や熱いシャワーは禁止です。 絆創膏を貼付したまま入浴してください。	湯船や熱いシャワーもOKです。 絆創膏を貼付したまま入浴してください。	
入浴後	普段通りで大丈夫です。絆創膏やテープを剥がしたり剥がれたりした場合は新しく貼付し直してください。		
その他		1~2日は激しい運動は控えて下さい。	10日間、球技等は控えて下さい。